

2. 喫煙行動の構造分析

(1) 小学生、中学生の学年別喫煙経験の比較

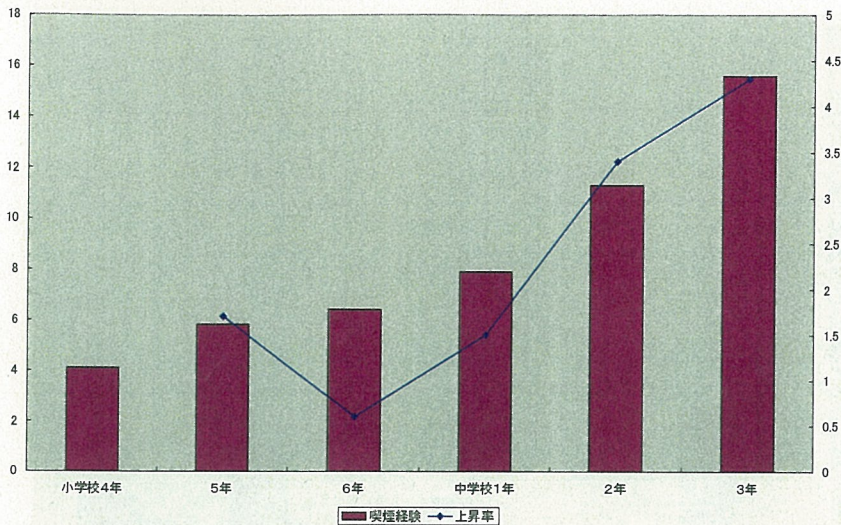
小学生の場合は喫煙経験が平均 5.4%であるが、中学生の場合は喫煙経験が平均11.5%に上昇する。また、一般に年次が上昇するにつれ喫煙経験の率も上昇する。

学年と喫煙の経験のクロス表

			喫煙の経験		合計
			1.00	2.00	
学年 4	度数		3529	150	3679
	学年の%		95.9%	4.1%	100.0%
5	度数		3569	219	3788
	学年の%		94.2%	5.8%	100.0%
6	度数		3363	229	3592
	学年の%		93.6%	6.4%	100.0%
合計	度数		10461	598	11059
	学年の%		94.6%	5.4%	100.0%

学年と喫煙の経験のクロス表

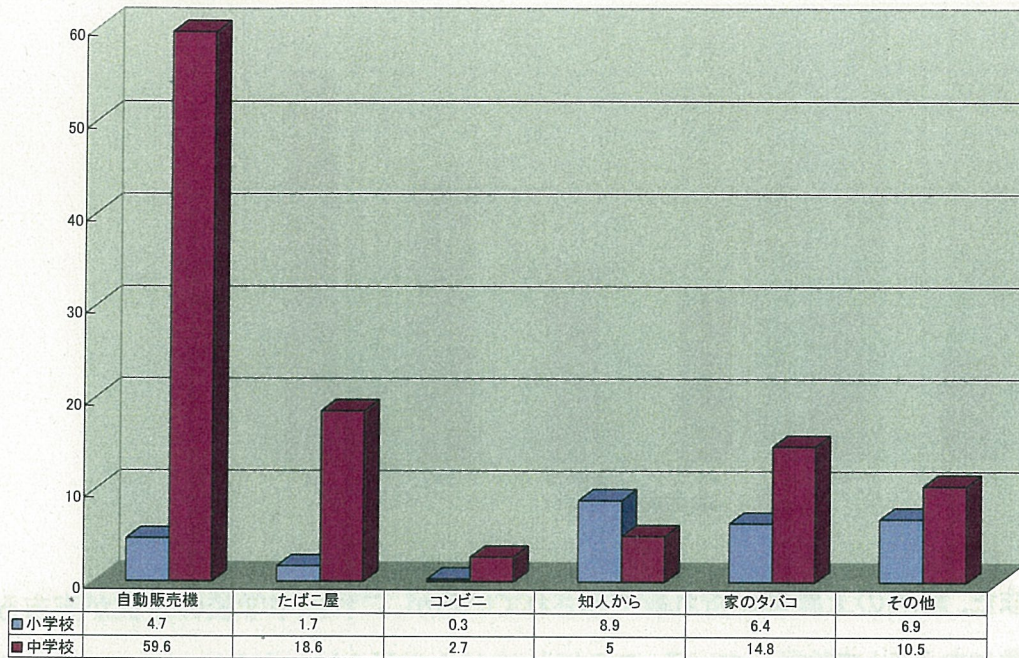
			喫煙の経験		合計
			1.00	2.00	
学年 1	度数		2621	224	2845
	学年の%		92.1%	7.9%	100.0%
2	度数		2390	305	2695
	学年の%		88.7%	11.3%	100.0%
3	度数		2202	406	2608
	学年の%		84.4%	15.6%	100.0%
合計	度数		7213	935	8148
	学年の%		88.5%	11.5%	100.0%



また、経験の上昇率が折れ線で示されているが、これは中学校の年次が高まるほど急になることを物語っている。この折れ線が小学校6年で底を打つことから、中学校に入る頃までに小学校の段階で「徹底的に」禁煙教育を施すべきであることが示唆される。

(2) 小・中学生のタバコ入手経路の違い

小学生と中学生では入手経路が違っていることに注目すべきだろう。小学生は知人、家にあるタバコ、その他が多い。知人や大人の不注意が喫煙へのアクセスを高める。ところが中学生の場合は、自動販売機が圧倒的な割合を占めている。おそらく高校生の場合もそうであろう。したがって、体格の点では成人に近づいているのだから、自動販売機での購入に対して何らかの規制(成人識別カード式の自動販売機など)が必要不可欠であることがわかる。



(3) 喫煙と家庭の喫煙環境

家族で喫煙する人がいる場合は、いない場合よりも小学生の場合は喫煙経験を3倍上昇させる。小学生のタバコへのアクセスで「家のタバコを入手」と言う割合が高かった。また、喫煙と健康についての関連性についても認識が低い場合や、タバコは「大人のたしなみ」という意識が高い場合も多い。喫煙に対する抵抗感が低い分だけ、「大人ぶりたい」年頃、好奇心に満ち溢れる年齢になればなるほど、喫煙への心理的欲求は高くなるのではないかと。それは各学年ごとにオッズ比で確認できる。

問7. と喫煙の有無 のクロス表

学年				喫煙の有無		合計
				1.00	2.00	
4	問7.	1	度数	1563	30	1593
			問7. の %	98.1%	1.9%	100.0%
		2	度数	1929	119	2048
			問7. の %	94.2%	5.8%	100.0%
	合計		度数	3492	149	3641
			問7. の %	95.9%	4.1%	100.0%
5	問7.	1	度数	1530	31	1561
			問7. の %	98.0%	2.0%	100.0%
		2	度数	2006	186	2192
			問7. の %	91.5%	8.5%	100.0%
	合計		度数	3536	217	3753
			問7. の %	94.2%	5.8%	100.0%
6	問7.	1	度数	1514	43	1557
			問7. の %	97.2%	2.8%	100.0%
		2	度数	1826	181	2007
			問7. の %	91.0%	9.0%	100.0%
	合計		度数	3340	224	3564
			問7. の %	93.7%	6.3%	100.0%

リスク推定

学年		値	95%信頼区間	
			下限	上限
4	問7. (1 / 2) のオッズ比	3.214	2.142	4.823
	コーホート喫煙の有無 = 1.00 に対して	1.042	1.029	1.055
	コーホート喫煙の有無 = 2.00 に対して	.324	.218	.481
	有効なケースの数	3641		
5	問7. (1 / 2) のオッズ比	4.576	3.111	6.732
	コーホート喫煙の有無 = 1.00 に対して	1.071	1.056	1.087
	コーホート喫煙の有無 = 2.00 に対して	.234	.161	.340
	有効なケースの数	3753		
6	問7. (1 / 2) のオッズ比	3.490	2.486	4.900
	コーホート喫煙の有無 = 1.00 に対して	1.069	1.052	1.086
	コーホート喫煙の有無 = 2.00 に対して	.306	.221	.424
	有効なケースの数	3564		

この傾向が中学生になればもっと高くなっていくように思われるが、オッズ比で小学生の場合と比較すると、家の喫煙状況は中学生の喫煙経験との関連性は低下する。その理由は、家の喫煙状況に左右されると言うより、自立心や自我の強化や家以外の学校や社会との係わり合いのほうにもっと目が行く事実と関係するのかもしれない。それが、タバコの入手経路での小学生と中学生の違いとも大いに関連していると思われる。小学生の場合には、家庭でのチェック機能が望まれる。中学生の場合は、学校内での指導や教育がもっと重要になる。

問8. と問1. のクロス表

学年	問8.			問1.		合計
				1	2	
1	1	度数	1238	52	1290	
		問8. の %	96.0%	4.0%	100.0%	
	2	度数	1373	172	1545	
		問8. の %	88.9%	11.1%	100.0%	
	合計	度数	2611	224	2835	
		問8. の %	92.1%	7.9%	100.0%	
2	1	度数	1074	80	1154	
		問8. の %	93.1%	6.9%	100.0%	
	2	度数	1297	222	1519	
		問8. の %	85.4%	14.6%	100.0%	
	合計	度数	2371	302	2673	
		問8. の %	88.7%	11.3%	100.0%	
3	1	度数	1020	93	1113	
		問8. の %	91.6%	8.4%	100.0%	
	2	度数	1167	308	1475	
		問8. の %	79.1%	20.9%	100.0%	
	合計	度数	2187	401	2588	
		問8. の %	84.5%	15.5%	100.0%	

リスク推定

学年		値	95%信頼区間	
			下限	上限
1	問8. (1/2) のオッズ比	2.982	2.167	4.105
	コーホート問1. =1 に対して	1.080	1.058	1.103
	コーホート問1. =2 に対して	.362	.268	.489
	有効なケースの数	2835		
2	問8. (1/2) のオッズ比	2.298	1.758	3.004
	コーホート問1. =1 に対して	1.090	1.062	1.119
	コーホート問1. =2 に対して	.474	.372	.605
	有効なケースの数	2673		
3	問8. (1/2) のオッズ比	2.895	2.262	3.704
	コーホート問1. =1 に対して	1.158	1.122	1.196
	コーホート問1. =2 に対して	.400	.322	.498
	有効なケースの数	2588		

(4) 2つの入手経路をめぐって

中学生に限って、タバコの入手経路として主な2つ(自動販売機、家にあるタバコ)について、喫煙日数、喫煙本数、喫煙現況(今喫煙中か否か)、喫煙意識(未成年が喫煙してよいか)についてオッズ比を比較する。

a. 喫煙日数

自動販売機(421.1)が家にあるタバコ(69.7)よりも高く出る。期間あたり頻度はタバコへのアクセスの容易さにも大いに依存する。この点からも自動販売機へのアクセスの何らかの規制が必要である。

クロス表

			喫煙日数		合計
			1.00	2.00	
問5 -2.	0	度数	7549	85	7634
		期待度数	7407.3	226.7	7634.0
		問5-2. の%	98.9%	1.1%	100.0%
1	度数	31	147	178	
	期待度数	172.7	5.3	178.0	
	問5-2. の%	17.4%	82.6%	100.0%	
合計	度数	7580	232	7812	
	期待度数	7580.0	232.0	7812.0	
	問5-2. の%	97.0%	3.0%	100.0%	

リスク推定

	値	95%信頼区間	
		下限	上限
問5-2. (0 / 1) のオッズ比	421.140	270.568	655.504
コーホート 喫煙日数 = 1.00 に対して	5.678	4.123	7.819
コーホート 喫煙日数 = 2.00 に対して	.013	.011	.017
有効なケースの数	7812		

クロス表

			喫煙日数		合計
			1.00	2.00	
問5 -5.	0	度数	7521	150	7671
		期待度数	7443.2	227.8	7671.0
		問5-5. の%	98.0%	2.0%	100.0%
1	度数	59	82	141	
	期待度数	136.8	4.2	141.0	
	問5-5. の%	41.8%	58.2%	100.0%	
合計	度数	7580	232	7812	
	期待度数	7580.0	232.0	7812.0	
	問5-5. の%	97.0%	3.0%	100.0%	

リスク推定

	値	95%信頼区間	
		下限	上限
問5-5. (0 / 1) のオッズ比	69.686	48.058	101.047
コーホート 喫煙日数 = 1.00 に対して	2.343	1.929	2.846
コーホート 喫煙日数 = 2.00 に対して	.034	.027	.042
有効なケースの数	7812		

(b)喫煙本数

オッズ比で比較すると、自動販売機(353.6)が家にあるタバコ(74.1)よりも高く出る。喫煙の習慣性と本数の比例関係があるのだから、この点でもタバコへのアクセスを制限する必要性が浮かび上がる。

クロス表

			喫煙本数		合計
			1.00	2.00	
問5 -2.	0	度数	7526	105	7631
		期待度数	7383.8	247.2	7631.0
		問5-2. の%	98.6%	1.4%	100.0%
1	度数	30	148	178	
	期待度数	172.2	5.8	178.0	
	問5-2. の%	16.9%	83.1%	100.0%	
合計	度数	7556	253	7809	
	期待度数	7556.0	253.0	7809.0	
	問5-2. の%	96.8%	3.2%	100.0%	

リスク推定

	値	95%信頼区間	
		下限	上限
問5-2. (0 / 1) のオッズ比	353.603	228.383	547.479
コーホート喫煙本数 = 1.00 に対して	5.852	4.222	8.109
コーホート喫煙本数 = 2.00 に対して	.017	.014	.020
有効なケースの数	7809		

クロス表

		喫煙本数		合計	
		1.00	2.00		
問5-5.	0	度数	7502	165	7667
		期待度数	7418.6	248.4	7667.0
		問5-5. の %	97.8%	2.2%	100.0%
1		度数	54	88	142
		期待度数	137.4	4.6	142.0
		問5-5. の %	38.0%	62.0%	100.0%
合計		度数	7556	253	7809
		期待度数	7556.0	253.0	7809.0
		問5-5. の %	96.8%	3.2%	100.0%

リスク推定

	値	95%信頼区間	
		下限	上限
問5-5. (0 / 1) のオッズ比	74.094	51.063	107.512
コーホート喫煙本数 = 1.00 に対して	2.573	2.086	3.174
コーホート喫煙本数 = 2.00 に対して	.035	.028	.042
有効なケースの数	7809		

(c)現在の喫煙状況

オッズ比を比較すると、自動販売機(363.9)が家にあるタバコ(696.8)よりも低く出ている。習慣的にタバコを吸うことと「家にタバコがある」ということ、家で喫煙することとが「三位一体の様子」が推測される。ちなみに現在タバコを吸っているとその場所は家というクロス表のオッズ比(742.8)は非常に高い。家庭でのタバコの管理が必要である。このことは学校からの家庭通信などで周知徹底すべきだろう。

クロス表

			喫煙状況		合計
			1.00	2.00	
問5 -2.	0	度数	6975	667	7642
		期待度数	6820.2	821.8	7642.0
		問5-2. の%	91.3%	8.7%	100.0%
	1	度数	5	174	179
		期待度数	159.8	19.2	179.0
		問5-2. の%	2.8%	97.2%	100.0%
合計	度数	6980	841	7821	
	期待度数	6980.0	841.0	7821.0	
	問5-2. の%	89.2%	10.8%	100.0%	

リスク推定

	値	95%信頼区間	
		下限	上限
問5-2. (0 / 1) のオッズ比	363.913	149.060	888.455
コーホート 喫煙状況 = 1.00 に対して	32.675	13.769	77.544
コーホート 喫煙状況 = 2.00 に対して	.090	.083	.097
有効なケースの数	7821		

クロス表

			喫煙状況		合計
			1.00	2.00	
問5 -5.	0	度数	6978	701	7679
		期待度数	6853.3	825.7	7679.0
		問5-5. の%	90.9%	9.1%	100.0%
	1	度数	2	140	142
		期待度数	126.7	15.3	142.0
		問5-5. の%	1.4%	98.6%	100.0%
合計	度数	6980	841	7821	
	期待度数	6980.0	841.0	7821.0	
	問5-5. の%	89.2%	10.8%	100.0%	

リスク推定

	値	95%信頼区間	
		下限	上限
問5-5. (0 / 1) のオッズ比	696.805	172.187	2819.829
コーホート 喫煙状況 = 1.00 に対して	64.519	16.294	255.464
コーホート 喫煙状況 = 2.00 に対して	.093	.086	.100
有効なケースの数	7821		

喫煙状況と問13-2. のクロス表

		問13-2.		合計
		0	1	
喫煙 状況	1.00	度数 7161	6	7167
		喫煙状況の%	99.9%	.1%
	2.00	度数 510	317	827
		喫煙状況の%	61.7%	38.3%
合計		度数 7671	323	7994
		喫煙状況の%	96.0%	4.0%

リスク推定

	値	95%信頼区間	
		下限	上限
喫煙状況(1.00 / 2.00)のオッズ比	741.842	329.135	1672.049
コホート問13-2. = 0 に対して	1.620	1.535	1.710
コホート問13-2. = 1 に対して	.002	.001	.005
有効なケースの数	7994		

(d)禁煙意識

オッズ比を比較すると、自動販売機(53.1)が家にあるタバコ(22.7)よりも高く出ている。タバコをやめたいという意識は自動販売機で購入しているグループで高いのだから、この点からも自動販売機へのアクセスを抑止する対策が有効であることが示唆される。

クロス表

		禁煙意識		合計
		1.00	2.00	
問5 -2.	0	度数 7513	125	7638
		期待度数 7434.7	203.3	7638.0
		問5-2. の%	98.4%	1.6%
	1	度数 94	83	177
		期待度数 172.3	4.7	177.0
		問5-2. の%	53.1%	46.9%
合計		度数 7607	208	7815
		期待度数 7607.0	208.0	7815.0
		問5-2. の%	97.3%	2.7%

リスク推定

	値	95%信頼区間	
		下限	上限
問5-2. (0 / 1) のオッズ比	53.071	37.620	74.866
コーホート禁煙意識 = 1.00 に対して	1.852	1.613	2.127
コーホート禁煙意識 = 2.00 に対して	.035	.028	.044
有効なケースの数	7815		

クロス表

	禁煙意識		合計	
	1.00	2.00		
問5-5. 0	度数	7513	162	7675
	期待度数	7470.7	204.3	7675.0
	問5-5. の%	97.9%	2.1%	100.0%
1	度数	94	46	140
	期待度数	136.3	3.7	140.0
	問5-5. の%	67.1%	32.9%	100.0%
合計	度数	7607	208	7815
	期待度数	7607.0	208.0	7815.0
	問5-5. の%	97.3%	2.7%	100.0%

リスク推定

	値	95%信頼区間	
		下限	上限
問5-5. (0 / 1) のオッズ比	22.695	15.435	33.369
コーホート禁煙意識 = 1.00 に対して	1.458	1.298	1.637
コーホート禁煙意識 = 2.00 に対して	.064	.048	.085
有効なケースの数	7815		

(5) 喫煙経験と友人の喫煙有無

小学生と中学生では、家庭の喫煙状況と喫煙経験の関連性に若干の違いが見られた。では、友人関係ではどうだろうか。ここでも、小学生のほうが中学生よりも全般的にオッズ比が高く出ている。その上、小学生の場合は学年が進むにつれてオッズ比が上昇する。友人関係の重要性が浮かび上がってくる。

問8. と喫煙の有無 のクロス表

学年			喫煙の有無		合計
			1.00	2.00	
4	問8. 1	度数	3169	104	3273
		問8. の %	96.8%	3.2%	100.0%
	2	度数	163	25	188
		問8. の %	86.7%	13.3%	100.0%
	合計	度数	3332	129	3461
問8. の %	96.3%	3.7%	100.0%		
5	問8. 1	度数	3181	154	3335
		問8. の %	95.4%	4.6%	100.0%
	2	度数	185	47	232
		問8. の %	79.7%	20.3%	100.0%
	合計	度数	3366	201	3567
問8. の %	94.4%	5.6%	100.0%		
6	問8. 1	度数	3082	154	3236
		問8. の %	95.2%	4.8%	100.0%
	2	度数	151	57	208
		問8. の %	72.6%	27.4%	100.0%
	合計	度数	3233	211	3444
問8. の %	93.9%	6.1%	100.0%		

リスク推定

学年		値	95%信頼区間	
			下限	上限
4	問8. (1 / 2) のオッズ比	4.673	2.938	7.433
	コーホート喫煙の有無 = 1.00 に対して	1.117	1.056	1.181
	コーホート喫煙の有無 = 2.00 に対して	.239	.158	.360
	有効なケースの数	3461		
5	問8. (1 / 2) のオッズ比	5.248	3.666	7.512
	コーホート喫煙の有無 = 1.00 に対して	1.196	1.121	1.277
	コーホート喫煙の有無 = 2.00 に対して	.228	.169	.307
	有効なケースの数	3567		
6	問8. (1 / 2) のオッズ比	7.555	5.350	10.667
	コーホート喫煙の有無 = 1.00 に対して	1.312	1.206	1.427
	コーホート喫煙の有無 = 2.00 に対して	.174	.133	.227
	有効なケースの数	3444		

他方中学生の場合は、オッズ比が最も高いのは2年生である。しかし、小学生、中学生とも友人の喫煙の有無と自身の喫煙経験とが統計的に有意な関連性を有していることは抑えた教育指導が必要であることをこの調査結果は示している。

問9. と問1. のクロス表

学年	問9.			問1.		合計
				1	2	
1	問9. 1	度数	311	81	392	
		問9. の %	79.3%	20.7%	100.0%	
	2	度数	2293	140	2433	
		問9. の %	94.2%	5.8%	100.0%	
	合計	度数	2604	221	2825	
		問9. の %	92.2%	7.8%	100.0%	
2	問9. 1	度数	366	125	491	
		問9. の %	74.5%	25.5%	100.0%	
	2	度数	1987	171	2158	
		問9. の %	92.1%	7.9%	100.0%	
	合計	度数	2353	296	2649	
		問9. の %	88.8%	11.2%	100.0%	
3	問9. 1	度数	568	250	818	
		問9. の %	69.4%	30.6%	100.0%	
	2	度数	1599	151	1750	
		問9. の %	91.4%	8.6%	100.0%	
	合計	度数	2167	401	2568	
		問9. の %	84.4%	15.6%	100.0%	

リスク推定

学年		値	95%信頼区間	
			下限	上限
1	問9. (1 / 2) のオッズ比	.234	.174	.316
	コホート 問1. = 1 に対して	.842	.800	.886
	コホート 問1. = 2 に対して	3.591	2.791	4.620
	有効なケースの数	2825		
2	問9. (1 / 2) のオッズ比	.252	.195	.326
	コホート 問1. = 1 に対して	.810	.768	.854
	コホート 問1. = 2 に対して	3.213	2.607	3.959
	有効なケースの数	2649		
3	問9. (1 / 2) のオッズ比	.215	.172	.268
	コホート 問1. = 1 に対して	.760	.725	.797
	コホート 問1. = 2 に対して	3.542	2.946	4.258
	有効なケースの数	2568		

(6) 禁煙教育と健康意識

タバコの健康被害に対する意識とタバコと健康についての教育との関連性をオッズ比で調べても、小学生については統計的に関連性を云々することができない。分析結果を概略する冒頭で、中学校に上がる前に「徹底的に」禁煙教育を施すべきだと述べた。これとこの結果とどのように整合性をつけるべきか。ひとつは、現在行われている小学校の禁煙教育の見直しであろう。オッズ比が有意ではないと言うことは、禁煙教育の内容や教え方の点で問題があるからこそ、健康意識との関係でうまく統計的有意性が浮かび上がってこないのかもしれない。この点での再調査が必要かもしれない。」

問11. と健康と喫煙 のクロス表

学年				健康と喫煙		合計
				1.00	2.00	
4	問1 1.	1	度数	1650	63	1713
			問11. の%	96.3%	3.7%	100.0%
	2	度数	1790	81	1871	
		問11. の%	95.7%	4.3%	100.0%	
	合計	度数	3440	144	3584	
問11. の%		96.0%	4.0%	100.0%		
5	問1 1.	1	度数	1758	71	1829
			問11. の%	96.1%	3.9%	100.0%
	2	度数	1703	74	1777	
		問11. の%	95.8%	4.2%	100.0%	
	合計	度数	3461	145	3606	
問11. の%		96.0%	4.0%	100.0%		
6	問1 1.	1	度数	3129	87	3216
			問11. の%	97.3%	2.7%	100.0%
	2	度数	297	14	311	
		問11. の%	95.5%	4.5%	100.0%	
	合計	度数	3426	101	3527	
問11. の%		97.1%	2.9%	100.0%		

リスク推定

学年	値	95%信頼区間		
		下限	上限	
4	問11. (1 / 2) のオッズ比	1.185	.847	1.658
	コホート健康と喫煙 = 1.00 に対して	1.007	.993	1.020
	コホート健康と喫煙 = 2.00 に対して	.850	.615	1.173
	有効なケースの数	3584		
5	問11. (1 / 2) のオッズ比	1.076	.772	1.500
	コホート健康と喫煙 = 1.00 に対して	1.003	.990	1.016
	コホート健康と喫煙 = 2.00 に対して	.932	.678	1.282
	有効なケースの数	3606		
6	問11. (1 / 2) のオッズ比	1.695	.952	3.018
	コホート健康と喫煙 = 1.00 に対して	1.019	.994	1.044
	コホート健康と喫煙 = 2.00 に対して	.601	.346	1.044
	有効なケースの数	3527		

他方、中学生の場合はオッズ比が統計的に有意な数値を取り、その分関連性を指摘できる。禁煙教育と喫煙による健康被害に対する認識を強化する意味は中学生の場合には有効であるようだ。

問12. と健康と喫煙 のクロス表

学年				健康と喫煙		合計
				1.00	2.00	
1	問1	1	度数	2319	130	2449
		2.	問12. の %	94.7%	5.3%	100.0%
		2	度数	271	28	299
			問12. の %	90.6%	9.4%	100.0%
	合計		度数	2590	158	2748
			問12. の %	94.3%	5.7%	100.0%
2	問1	1	度数	2009	135	2144
		2.	問12. の %	93.7%	6.3%	100.0%
		2	度数	391	47	438
			問12. の %	89.3%	10.7%	100.0%
	合計		度数	2400	182	2582
			問12. の %	93.0%	7.0%	100.0%
3	問1	1	度数	2169	159	2328
		2.	問12. の %	93.2%	6.8%	100.0%
		2	度数	158	31	189
			問12. の %	83.6%	16.4%	100.0%
	合計		度数	2327	190	2517
			問12. の %	92.5%	7.5%	100.0%

リスク推定

学年		値	95%信頼区間	
			下限	上限
1	問12. (1 / 2) のオッズ比	1.843	1.202	2.826
	コホート健康と喫煙 = 1.00 に対して	1.045	1.006	1.085
	コホート健康と喫煙 = 2.00 に対して	.567	.384	.837
	有効なケースの数	2748		
2	問12. (1 / 2) のオッズ比	1.789	1.262	2.536
	コホート健康と喫煙 = 1.00 に対して	1.050	1.014	1.086
	コホート健康と喫煙 = 2.00 に対して	.587	.428	.805
	有効なケースの数	2582		
3	問12. (1 / 2) のオッズ比	2.676	1.763	4.063
	コホート健康と喫煙 = 1.00 に対して	1.115	1.045	1.188
	コホート健康と喫煙 = 2.00 に対して	.416	.292	.594
	有効なケースの数	2517		

(7) 未成年喫煙に対する意識

未成年者がタバコを吸うことについての道德観をみると、「いけない」と回答した小学生の割合は、学年が進むほど低下する。付随して、「いけないがしかたない」と回答する率が高くなる。どのような要因から「しかたない」の割合が高くなるのか、更なる追跡が必要であろう。

問10.

学年		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
4	有効	1	3223	84.6	85.6	85.6
		2	323	8.5	8.6	94.1
		3	28	.7	.7	94.9
		4	193	5.1	5.1	100.0
		合計	3767	98.9	100.0	
	欠損値	9	42	1.1		
	合計		3809	100.0		
5	有効	1	3196	83.6	84.6	84.6
		2	379	9.9	10.0	94.6
		3	27	.7	.7	95.3
		4	176	4.6	4.7	100.0
		合計	3778	98.8	100.0	
	欠損値	9	46	1.2		
	合計		3824	100.0		
6	有効	1	3032	83.4	84.0	84.0
		2	437	12.0	12.1	96.1
		3	16	.4	.4	96.5
		4	125	3.4	3.5	100.0
		合計	3610	99.3	100.0	
	欠損値	9	27	.7		
	合計		3637	100.0		

中学生についても同様な傾向がもっと強く出てくる。「しかたない」は友人関係からなのか、学校生活への不満なのか、その他もろもろの事情によるのか、精査する必要がある。

問11.

学年		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
1	有効	1	2564	90.0	90.3	90.3
		2	225	7.9	7.9	98.3
		3	49	1.7	1.7	100.0
		合計	2838	99.6	100.0	
	欠損値	9	12	.4		
	合計	2850	100.0			
2	有効	1	2265	83.6	84.6	84.6
		2	331	12.2	12.4	97.0
		3	80	3.0	3.0	100.0
		合計	2676	98.8	100.0	
	欠損値	9	32	1.2		
	合計	2708	100.0			
3	有効	1	2057	78.5	79.4	79.4
		2	395	15.1	15.3	94.7
		3	138	5.3	5.3	100.0
		合計	2590	98.8	100.0	
	欠損値	9	31	1.2		
	合計	2621	100.0			

(8) 未成年喫煙に対する意識と禁煙教育

喫煙に対する意識と学校での禁煙教育についての関連性をオッズ比で比較すると、小学校4年生については「かろうじて」関連性が見られるが、5,6年生についてはそれが見られない。これは喫煙が及ぼす健康への影響と禁煙教育について統計的な関連性が観察できなかったこととも関連している。小学校での禁煙教育についてさらに一段の工夫が必要である。

問11. と未成年喫煙への意識 のクロス表

学年				未成年喫煙への意識		合計
				1.00	2.00	
4	問1 1.	1	度数	1560	124	1684
			問11. の%	92.6%	7.4%	100.0%
	2	度数	1603	216	1819	
		問11. の%	88.1%	11.9%	100.0%	
	合計	度数	3163	340	3503	
		問11. の%	90.3%	9.7%	100.0%	
5	問1 1.	1	度数	1613	185	1798
			問11. の%	89.7%	10.3%	100.0%
	2	度数	1507	209	1716	
		問11. の%	87.8%	12.2%	100.0%	
	合計	度数	3120	394	3514	
		問11. の%	88.8%	11.2%	100.0%	
6	問1 1.	1	度数	2758	398	3156
			問11. の%	87.4%	12.6%	100.0%
	2	度数	254	49	303	
		問11. の%	83.8%	16.2%	100.0%	
	合計	度数	3012	447	3459	
		問11. の%	87.1%	12.9%	100.0%	

リスク推定

学年	問11. (1/2) のオッズ比 コーホート 未成年喫煙への 意識 = 1.00 に対して コーホート 未成年喫煙への 意識 = 2.00 に対して 有効なケースの数	値	95%信頼区間	
			下限	上限
4	問11. (1/2) のオッズ比	1.695	1.345	2.137
	コーホート 未成年喫煙への 意識 = 1.00 に対して	1.051	1.029	1.074
	コーホート 未成年喫煙への 意識 = 2.00 に対して	.620	.502	.765
	有効なケースの数	3503		
5	問11. (1/2) のオッズ比	1.209	.980	1.492
	コーホート 未成年喫煙への 意識 = 1.00 に対して	1.022	.998	1.046
	コーホート 未成年喫煙への 意識 = 2.00 に対して	.845	.701	1.018
	有効なケースの数	3514		
6	問11. (1/2) のオッズ比	1.337	.967	1.847
	コーホート 未成年喫煙への 意識 = 1.00 に対して	1.042	.990	1.097
	コーホート 未成年喫煙への 意識 = 2.00 に対して	.780	.594	1.024
	有効なケースの数	3459		

他方、中学生については、禁煙教育と喫煙についての意識との関係はオッズ比で見る限りは統計的に有意である。ということは、中学生の段階での禁煙教育も小学生の段階とは又一段違った形で、もっと充実させる必要があることを示唆する。

問12. と未成年喫煙への意識 のクロス表

学年				未成年喫煙への意識		合計
				1.00	2.00	
1	問1	1	度数	2280	219	2499
		2.	問12. の %	91.2%	8.8%	100.0%
		2	度数	268	52	320
			問12. の %	83.8%	16.3%	100.0%
	合計		度数	2548	271	2819
			問12. の %	90.4%	9.6%	100.0%
2	問1	1	度数	1897	292	2189
		2.	問12. の %	86.7%	13.3%	100.0%
		2	度数	355	115	470
			問12. の %	75.5%	24.5%	100.0%
	合計		度数	2252	407	2659
			問12. の %	84.7%	15.3%	100.0%
3	問1	1	度数	1936	442	2378
		2.	問12. の %	81.4%	18.6%	100.0%
		2	度数	118	91	209
			問12. の %	56.5%	43.5%	100.0%
	合計		度数	2054	533	2587
			問12. の %	79.4%	20.6%	100.0%

リスク推定

学年		値	95%信頼区間	
			下限	上限
1	問12. (1 / 2) のオッズ比	2.020	1.455	2.804
	コホート未成年喫煙への意識 = 1.00 に対して	1.089	1.037	1.145
	コホート未成年喫煙への意識 = 2.00 に対して	.539	.408	.713
	有効なケースの数	2819		
2	問12. (1 / 2) のオッズ比	2.105	1.649	2.685
	コホート未成年喫煙への意識 = 1.00 に対して	1.147	1.087	1.211
	コホート未成年喫煙への意識 = 2.00 に対して	.545	.450	.660
	有効なケースの数	2659		
3	問12. (1 / 2) のオッズ比	3.378	2.522	4.525
	コホート未成年喫煙への意識 = 1.00 に対して	1.442	1.278	1.627
	コホート未成年喫煙への意識 = 2.00 に対して	.427	.358	.509
	有効なケースの数	2587		